



環境省
エコアクション21
認証番号 0001959

エコアクション21 環境経営レポート

令和5年度

(令和5年7月～令和6年6月)



有限会社 野原商事

令和6年8月15日作成 (第17版)

目次



1. 環境経営方針	p. 1
2. 事業概要	pp. 2-4
3. 環境経営システム実施体制図（組織図）	p. 5
4. 環境経営目標	p. 6
5. 環境経営計画および取組結果の評価と次年度の取組	p. 7
6. 環境経営実績	p. 8
7. 環境経営計画の実績と評価及び次年度の取組内容	pp. 9-11
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	p. 12
9. 地域貢献、その他の活動	p. 13
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	p. 14



1. 環境経営方針

【基本理念】

有限会社野原商事は、廃棄物収集運搬業を通じて積極的に環境美化活動に参加し、リサイクルの促進、二酸化炭素の排出削減を心がけ、エコ、リサイクルに精通した企業を目指します。

【基本方針】

当社は、環境負荷を第一に考えたシステムを構築し、環境にやさしい業務に努めます。

1. 環境保全の推進
 - ①二酸化炭素の削減
 - ②環境に配慮した車両の導入
 - ③廃棄物リサイクルの促進
 - ④洗車使用水の節減
 - ⑤従業員教育の促進
 - ⑥近隣住民への騒音、振動等の削減
 - ⑦グリーン購入の推進
2. 環境関連法規等の遵守
3. 環境コミュニケーションの実施

当社、利害関係者一体となった環境保全活動を目指します。



制定年月日：2007年1月4日
改定年月日：2020年10月1日

有限会社 野原商事
代表取締役 **野原 康司**

2. 事業概要

会社名及び代表者名

会社名 有限会社野原商事
代表者名 代表取締役社長 野原康司
代表取締役専務 野原敏裕

所在地

本社 〒410-0022 静岡県沼津市大岡2398-1
第2駐車場 〒410-0022 静岡県沼津市大岡2396-3
第2駐車場 〒410-0022 静岡県沼津市大岡530-2
野原倉庫 〒410-0022 静岡県沼津市大岡2490

環境管理責任者

氏名 野原将平
連絡先 TEL：055-962-8788
FAX：055-962-8794
E-mail：info@noharasyoji.jp

事業の内容

一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業
リサイクル業
太陽光発電事業

事業の規模

資本金 500万円
売上高 46,381万円（令和5年度）
従業員数 22人
事業年度 毎年6月末決算
沿革 法人設立日 1985年1月4日

許可内容

一般廃棄物収集運搬業

- 沼津市 許可番号：第28号
許可期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日まで
事業範囲：一般廃棄物の収集運搬
- 三島市 許可番号：第4301号
許可期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日まで
事業範囲：一般廃棄物の収集運搬
- 裾野市 許可番号：第8号
許可期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日まで
事業範囲：一般廃棄物の収集運搬
- 清水町 許可番号：第5号
許可期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日まで
事業範囲：一般廃棄物の収集運搬
- 長泉町 許可番号：第142-8号
許可期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日まで
事業範囲：一般廃棄物の収集運搬

産業廃棄物収集運搬業

- 静岡県 許可番号：第2201039547号
許可期間：令和3年4月10日～令和8年4月9日まで
事業区分：収集運搬（積替え及び保管行為を除く）
許可品目：廃プラスチック類^{※1}、金属くず^{※1}、ガラスくず・
コンクリートくず及び陶磁器くず^{※1}、がれき類、
紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ
※1 水銀使用製品産業廃棄物を含む 以上8品目
- 許可車両：塵芥車(6.3t)×1台、塵芥車(6.5t)×1台、
ダンプ車(3t)×6台

古物商 許可番号：第491070328200号

自動車商 許可番号：沼津3282号

収集運搬実績（令和5年度）

受託した一般廃棄物 8,096.07 t

受託した産業廃棄物 551.73 t

木くず	5.50 t
廃プラスチック	54.45 t
金属くず	289.62 t
動植物性残さ	202.16 t

回収した再生資源物 2,006.49 t

ペットボトル	151.25 t
古紙	1,855.24 t

施設などの状況

運搬車両の種類

一般廃棄物許可車両

塵芥車（7t）	13台
塵芥車（3t）	3台
ダンプ車（3t）	3台
ダンプ車（2t）	3台

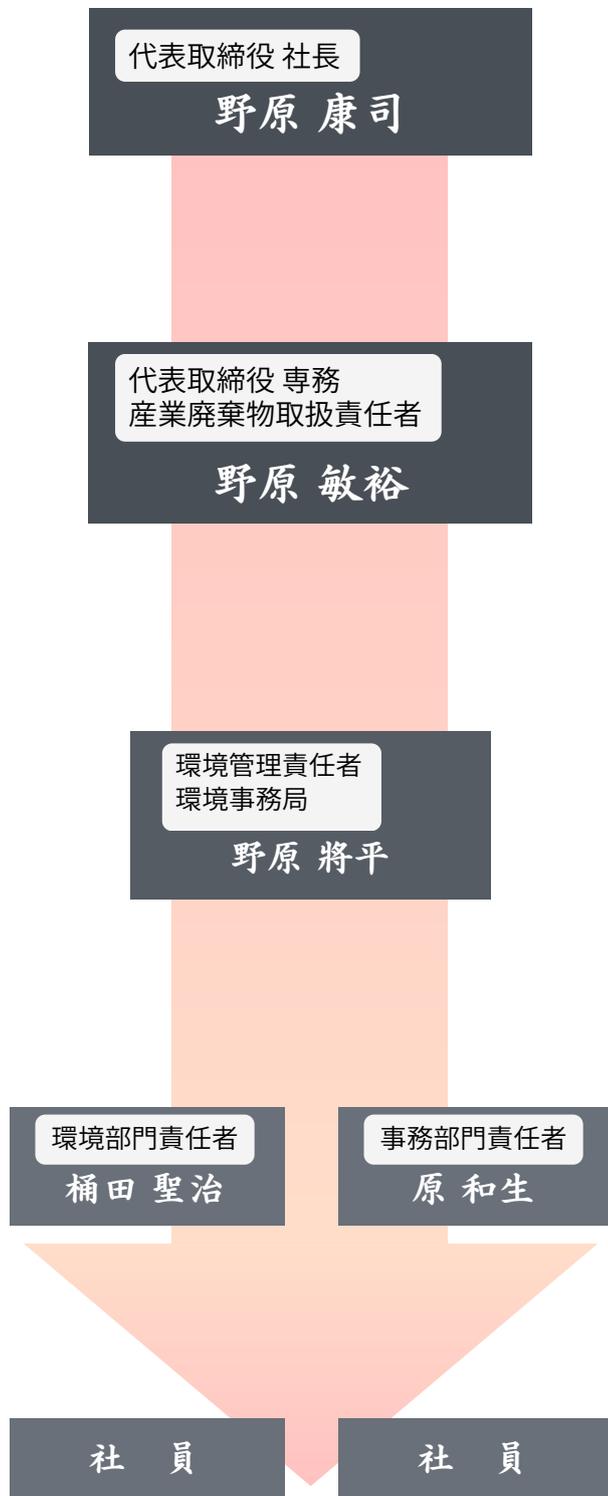
産業廃棄物許可車両

塵芥車（6.5t）	1台
ダンプ車（3t）	1台
ダンプ車（2t）	2台

営業用車両

軽トラック	4台
-------	----

3. 環境経営システム実施体制図（組織図）



代表取締役

全社の環境経営システムの総責任者

- 経営における課題とチャンスの明確化
- 環境方針を定める
- 環境管理責任者を任命
- 資源（人材、モノ、資金）の用意
- 全体の取組状況の評価と見直し

環境管理責任者

経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を持つ

- システムの実績を経営者に報告

環境事務局

環境管理責任者の補佐

- 全体計画の立案
- 文書の作成管理
- 社員教育の実施
- システム運用上の事務管理

各部門責任者

部門のシステム運用責任者

- 部門の計画立案
- 社員教育の実施
- 実施状況の確認、記録
- 外部の苦情、要望等の窓口

4. 環境経営目標

項目	詳細	単位	基準値	目標値			
			(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	(2025年度)	(2026年度)
二酸化炭素排出量の削減	軽油使用量の削減	ℓ	129,860	-1%	-2%	-3%	-4%
				128,561	127,263	125,964	124,666
	ガソリン使用量の削減	ℓ	12,100	-1%	-2%	-3%	-4%
				11,979	11,858	11,737	11,616
	電力使用量の削減	kWh	13,712	-1%	-2%	-3%	-4%
				13,575	13,438	13,301	13,164
合計	kg-CO ₂	369,275	-1%	-2%	-3%	-4%	
			365,582	361,890	358,197	354,504	
水資源使用量の削減		m ³	564	-1%	-2%	-3%	-4%
			558	553	547	541	
産業廃棄物リサイクル率の向上		%	再資源化量の増加によるリサイクル率"70%"以上を目指す				
太陽光発電の継続		kWh	継続的に発電量を記録する（目標値を定めない）				
グリーン購入の推進		-	事務用品の中から、対象商品を積極的に購入する				
備考	電力二酸化炭素排出係数は、東京電力 令和元年度(0.442 kg-CO ₂ /kWh)						

5. 環境経営計画および取組結果の評価と次年度の取組

項目	詳細	実施項目	責任者	取組期間												評価	次年度の取組内容	
				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
二酸化炭素排出量の削減	軽油・ガソリン等の燃料使用量の削減	①車両の運転方法の指導	桶田	→												○	継続	
		②車両整備点検の実施	桶田	→												○	継続	
		③収集運搬ルート効率化	桶田	●			●				●					○	継続	
		④燃料データの活用	野原將				●								●	○	継続	
	電力使用量の削減	①空調の適正温度管理	野原將	●	●	●				●	●	●				●	○	継続
		②不必要な照明の消灯	野原將	→												○	継続	
水資源使用量の削減	①洗車方法の効率化	桶田	→												○	継続		
	②雨水利用の検討	桶田	→												○	継続		
	③節水表示	野原將	→												○	継続		
産業廃棄物リサイクル率の向上	①定期的に処分場の検討	野原將	→												○	継続		
太陽光発電の継続	①太陽光発電による発電量のデータ収集及び活用	野原將	→												○	継続		
グリーン購入の推進	①事務用品の選定時に、可能な限り対象品を購入する	原	→												○	継続		
新規顧客	①新規顧客の開拓	大町	→												○	継続		

6. 環境経営実績

運用期間：令和5年度（令和5年7月～令和6年6月）

項目	詳細	単位	基準値	目標値	実績値	評価
			(2022年度)			
二酸化炭素 排出量の削減	軽油使用量の削減	ℓ	129,860	-1%	-0.0%	△
				128,561	129,847	
	ガソリン使用量の削減	ℓ	12,100	-1%	-3.3%	○
				11,979	11,699	
電力使用量の削減	kWh	13,712	-1%	-6.1%	○	
			13,575	12,880		
合計	kg-CO ₂	369,275	-1%	-0.4%	△	
			365,582	367,920		
水資源使用量の削減	m ³	564	-1%	-8.5%	○	
			558	516		
産業廃棄物リサイクル率の向上	%	66.79%	70%~100%	63.00%	×	
太陽光発電の継続	kWh	66,001	-	66,981	-	
グリーン購入の推進		事務用品の中から、対象商品を積極的に購入する				
備考	評価： ○（目標達成） △（目標未達だが、基準年度より減少） ×（目標未達）					

7. 環境経営計画の実績と評価及び次年度の取組内容

軽油

評価・分析

目標未達成。

基準年と比較して、わずかに減少したもののほとんど変わらない結果になった。車両の故障が多く、普段とは異なるルートでの回収や燃費の悪化が原因であると考え

次年度への課題

- ・こまめに車両のメンテナンスをする
- ・新型車両への変更（順次）
- ・運転方法の指導

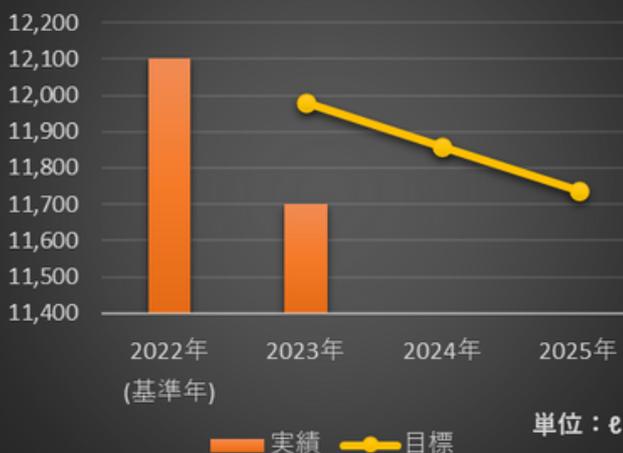
	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	129,861	129,847			△
目標		128,562	127,263	125,965	

軽油使用量



	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	12,101	11,699			○
目標		11,980	11,859	11,738	

ガソリン使用量



ガソリン

評価・分析

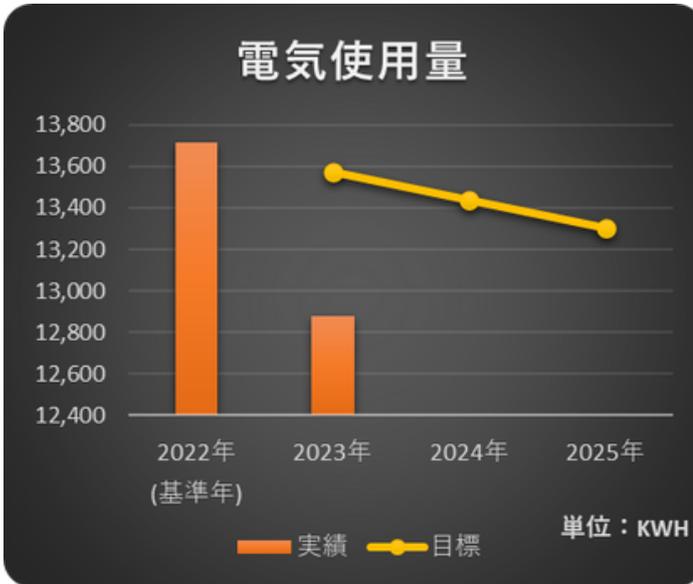
目標達成。

徐々に集金から振込への移行が進んでいるため、営業車の使用頻度が減少したため。

次年度への課題

- ・引き続き集金から振込へのお願いをする。

	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	13,712	12,880			○
目標		13,575	13,438	13,301	



電気

評価・分析

目標達成。

エアコンについて以前よりも効率的に使用できたことが要因。(換気や温度等の調整)

次年度への課題

- ・機械を新しいものに切り替えていく。
- ・使用していない部屋の電気を切る。

二酸化炭素

評価・分析

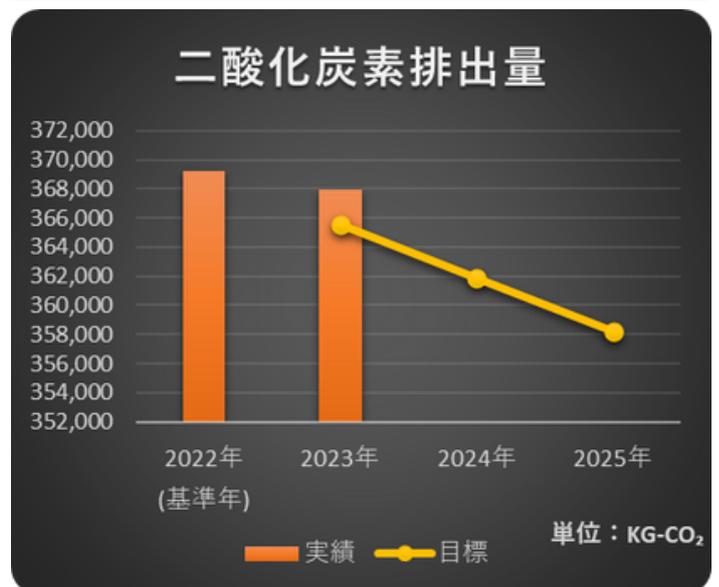
目標未達成。

もう少し軽油使用量を減らすことができれば、こちらも目標達成できそう。

次年度への課題

- ・軽油使用量の減少。

	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	369,275	367,920			△
目標		365,583	361,890	358,197	



水

評価・分析

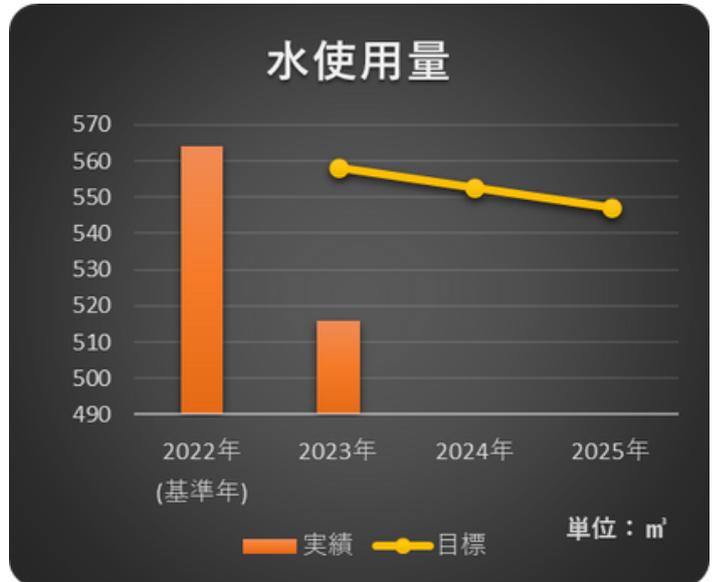
目標達成。

水は洗車で使用することが主になりますが、車両をきれいに保ちながら節水への意識も高くなっているため継続していく。

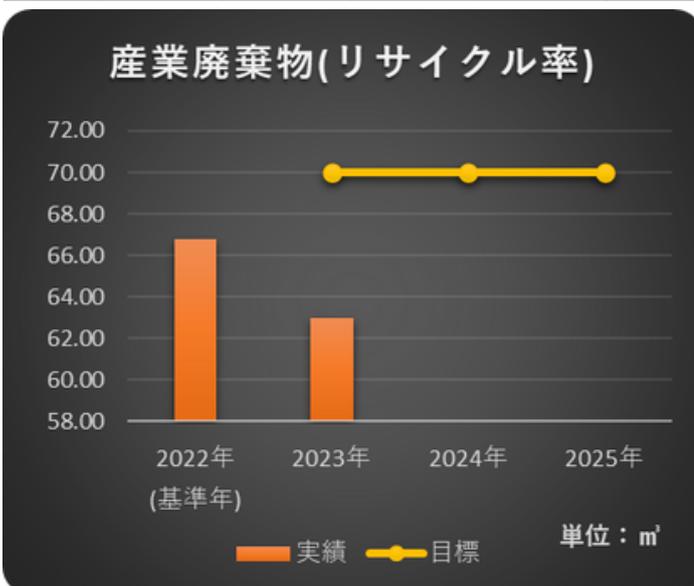
次年度への課題

- ・引き続き節水を意識する。

	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	564	516			○
目標		558	553	547	



	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	評価
実績	67	63			×
目標		70	70	70	



産業廃棄物 (リサイクル率)

評価・分析

目標未達成。

産業廃棄物処分量の全体量は増加しているものの、焼却になってしまう動植物性残さも増加しているため、このような結果になっている。

次年度への課題

- ・廃プラスチックや金属などの処分量の増やす。
- ・動植物性残さのリサイクル施設を模索する。



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、下表の通り違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘及び利害関係者からの訴訟等は過去3年間ありませんでした。

遵守年月日：R6/6/30

環境管理責任者：野原将平

期間：R5/7/1～R6/6/30

環境関係法規等の名称	遵守内容	詳細	評価
循環型社会形成推進基本法	循環型社会形成への貢献	分別排出・リサイクルの推進	○
		お客様への情報提供	○
廃棄物処理法	一般廃棄物の適正処理	許可基準の遵守、更新、申請	○※1
		分別収集の推進	○※2
		適切な処理施設の使用	○
	産業廃棄物の適正処理	許可基準の遵守、更新、申請	○
		収集運搬基準の遵守	○
		マニフェスト管理、年間報告書提出	○
		委託契約書の作成	○
	容器包装リサイクル法	再生資源の推進	事業者への指導
分別排出の徹底			○
家電リサイクル法	再生資源の推進	排出者への指導	○
		排出時の適正処理	○
自動車リサイクル法	再生資源の推進	排出時の適正処理 R5.7/1～R6.6/30 (30台)	○
道路運送車両法	安全管理・最大積載量	日常、点検整備 R6.6/30 現在 (30台)	○
浄化槽法	定期清掃、点検・保守	点検記録の保管	○
フロン排出抑制法	エアコンの管理	業務用エアコンの簡易点検	対象外
		廃棄時、許可業者への引き渡し	○

※1 R6/4/1 許可更新 (沼津市、三島市、裾野市、清水町、長泉町)

※2 H22/12/1 沼津市通達により搬入品目変更 (容器包装プラ関係)

9. 地域貢献、その他の活動

節電・節水の呼びかけ

家電製品は古い物から随時入替



分別の徹底

社内で発生した廃棄物は細かく分別
(可燃物、不燃物、ビニール、
ダンボール ...など)



ミーティング

近況報告、収集ルートの見直し、ヒヤリハット事例報告 ...など



その他

地域の祭りごみ収集

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

見直し関連情報	項目	評価の内容	
	エコアクション21文書	記録・文書として作成	
	環境経営目標及び目標達成状況	軽油、電気、二酸化炭素は未達	
	環境経営計画及び取り組み実施状況	今後も継続する	
	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	記録に記載済み	
	外部コミュニケーション・対応記録	問題なし	
	問題点の是正・予防処置の実施状況		
	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向		
全体評価・見直し指示	対象	変更の有無	「有」の場合の指示事項等
	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	環境に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	代表者による指示事項		
<p>今期は二酸化炭素排出量に関わる項目（軽油・ガソリン・電力の使用量）や水使用量において、少しではあるが昨年度より減少させることができた。しかし、軽油使用量と二酸化炭素使用量については目標達成にはならず、もう少し会社全体での努力が必要だと考えている。</p> <p>トラックドライバーの2024年問題や物価上昇などのあおりを受け、我が社も大変な状況ではあるが、持続可能な社会の実現のために今後もこの活動を継続して参ります。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役専務 野原敏裕</p>			